

ことわざ珍道記―「腹八分目」―

清水 泰生

2016年9月下旬にバルセロナで行われる学会行く予定だったが、急遽行けなくなった。航空券をすでにとっており、「あ～あ、どうしようか」であった。少し経って、2017年2月上旬にオックスフォード大学で行われる国際会議のことを知り、それなら2月にバルセロナとオックスフォードの両方に行こうと思い、バルセロナ行きの航空券の日程を（手数料を払って）変えてもらった。9月のバルセロナの国際会議の代わりに9月23、24日神戸大学で行われる第二回EAJS日本会議のプレゼンに応募して採択された。

EAJS日本会議にオックスフォード大学の東洋学部長が来られるので、2月のオックスフォード大学で行われる会議の合間に日本ことわざ文化学会刊行のことわざの本と『研究社日本語口語表現辞典』を献本することの話をできればと思った。9月23日この会議のレセプションでビャーケ・フレスヴィック先生と話ができて、2月に献本することになった。

（結局、オックスフォード大学で行われる会議には参加せず献本のみとなった）

年が変わり、そして2月。2017年2月6日専門学校の授業が終わり、急いで伊丹行きのリムジンバスに飛び乗り、伊丹空港20時25分発のJALで羽田空港へ。羽田空港からカタール航空でドーハ経由でバルセロナ国際空港へ。バルセロナ国際空港へは12時25分（現地時間、以下現地時間）に着いた。空港からカタルニャー広場の近くのホテルへと向かう。

そのホテルでバルセロナ自治大学の白石先生と会う約束をしたが、ホテルがなかなか見つからない。探しに探した結果、なんとか約束の時間（3時）の10分前に到着した。そして、白石実先生にお会いしてまずは、ことわざの本等を献本。その後一時間ほど話をしてからバルセロナ市内のゲストハウスへ向った。そして、その日は終わった。

次の日（8日）11時発のルトン空港行きでイギリスへ向った。12時50分にルトン空港に到着し、そこから15時30分のリムジンバスでオックスフォードへ。旅の疲れのためかバスの中で居眠りをしてしまい、気がつくとはそこは終点オックスフォードバスステーション、時刻は18時。そしてそこから歩いてオックスフォード駅の近くのゲストハウスへ。ようやく長い一日が終わった。

次の日（9日）朝5時に目が覚め、今日は、昼、晩とも走る時間がないと思い、6時から2時間走ろうと思い、オックスフォード大学陸上競技場を目指して走った。この競技場はオックスフォードの医学生だったパニスターが人類初1マイル4分を切った競技場である。この競技場の入り口の記念碑（というよりプレート）の写真を撮り、競技場のトラックを走った。

早朝でもものすごく寒かったが私以外に7、8人走っており、しかも短パン姿（さすが

に上は長袖であった)には驚いた。120分走った後、着替えて、献本すべき書籍を持ってボドリアン図書館附属日本研究図書館へ。場所がわからず迷ったが何とか10時に到着。ボドリアン日本図書附属日本研究図書館長のイズミ K. タイトラー氏と東洋学部長のビャーケ・フレスヴィック先生にお会いし本を献本。そして、しばし歓談をした後、日本語担当の萩原先生の教え子の発表を聴講するまでの空き時間に、オックスフォードバスステーションの近くの屋台で食事。そしてボドリアン図書館本館を見学しようと思ったが、個人で自由に見学することができず、決まった時間でないとダメらしく、時間がなくて断念。14時にSt Antony's collegeで萩原先生の教え子の研究発表を聴講。その後、萩原先生と歓談のひとつきを過ぎた後大学を出てゲストハウスに戻った。

翌日(10日)朝4時30分、オックスフォードバスステーション発のリムジンバスでルトン空港に向った。9時にフライト、イギリスに別れを告げて再びバルセロナへ。12時5分バルセロナに着いてすぐバルセロナハーフマラソン大会のマラソンエキスポへ向かった。

マラソンエキスポは、エスパニャー広場の近くのCupula Eventsの最上位だった。マラソンエキスポに展示、出店しているのがほとんどなく寂しいエキスポであった。エキスポでナンバーカードを受け取ってからゲストハウスに戻った。そして、ゲストハウスの周りをゆっくり走ってその日は終わった。次の日(11日)の朝なぜかおなかが空いてゲストハウスの朝食を暴飲暴食。正午ごろバルセロナオリンピックスタジアムとオリンピック博物館に訪れたときには胃の調子がおかしくなった。オリンピック博物館はオリンピックに関するものが多く展示されているが、なぜか東京オリンピック1964に関するものは映像のみであった。博物館見学後にしんどくなってきたので、バス、地下鉄を使ってゲストハウスに何とか早く着きたいと思ったが、吐き気がして地下鉄の階段などで何度かもどした。宿舎に着いたときによりやく胃の調子が落ち着いた。やはり、朝食は、腹八分目にすべきだと思った。そして、あれだけ気分が悪くガードがゆるいにもかかわらず、スリにあわずにすんだのが不思議であった。

そして、次の日(12日)バルセロナハーフマラソン。旅の疲れで疲労困憊。スタート時間(9時)までにポストン日本人学校勤務の日本人夫妻や日本企業のバルセロナ事務所勤務の人と会い、記念撮影。そしてレース。やはり疲れが出て5キロで私のレースが終わり、残り17キロは、惰性で走り1時間33分台でゴール。そのあとゲストハウスに戻りのんびりすごし、その日は終わった。次の日(13日)10時30分にゲストハウスから出て空港へ。17時発の飛行機に乗って大阪に向かった。私の今回の旅行は終わった。

オックスフォードとバルセロナの気温差が10度くらいあって大変だったが何とか無事にこなし、帰国できた。次回は余裕のあるスケジュールにしたいと思う。



オックスフォード大学 ボドリアン図書館
本館



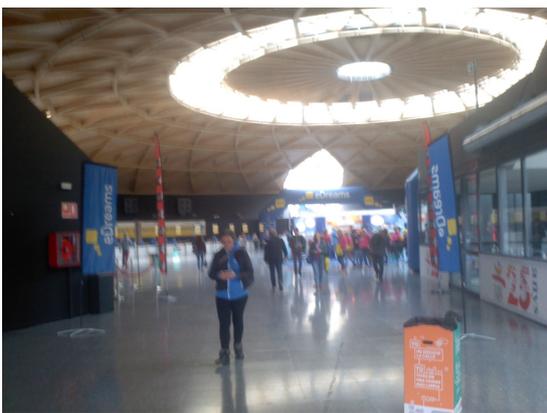
オックスフォード大学 ラドクリフカメラ



バニスターが1マイル人類初4分の壁を切った
オックスフォード大学陸上競技場



バニスターが1マイル人類初4分の壁を切った
ということを記しているプレート



バルセロナハーフマラソンエキスポ



エスパンニャー広場と遠くのモンジュークの丘



バルセロナ市内



オリンピック博物館のチケット